

大きな地震が発生した際の生徒の下校対応について

東日本大震災では、太田市でも地震直後から電話やメールが繋がらない状態が続き、非常時の情報伝達の難しさと、生徒の安全の確保、特に下校対応の難しさが浮き彫りになりました。

そこで、今後大きな地震が発生した場合、太田市として次のような統一した下校対応を取ることになっています。

つきましては、下記により、ご家庭で災害発生時の対応についてご確認いただくとともに、親戚やご近所の方々にもお知らせいただき、非常時の対応についてご相談いただきますようお願いいたします。

生徒が在校時に震度5弱以上の地震が発生した場合、全校で生徒を学校で待機させます。

その後の対応は以下の通りです。

《休泊中学校の具体的な対応について》

1. 保護者はできるだけ迎えに来てください。
2. 学校は被害状況と道路状況を調べ、安全が確認できた場合には、生徒を下校させます。
3. 「2」の状況で、生徒を引き続き学校に待機させる希望がある場合は待機させます。

※ 安全が確認できた後の対応について、

- ア 安全が確認できた後、保護者が迎えに行くまで待機
- イ 安全が確認できた場合には下校
- ウ その他 （例：小学校へ迎えに行くので弟と合流して待機 等 ）

の希望を変更したい場合は、中学校の教頭にお申し出ください。